

# 令和8年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	公民	科目名	公共	単位数	2	履修学年・クラス	1ABC
担当者		使用教材	『公共』(東京書籍)				
学習目標	①現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念とともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ②現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的空間における基本的原理を活用して、公正に判断する力を養う。 ③よりよい社会の実現を視野に、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論し、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。 ④現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。						
学習方法	①第1部「公共の扉」で、現実社会の諸課題を見いだし、解決に向けて選択・判断の手掛かりとなる基本原理を学習する。 ②第2部「自立した主体として社会に参画する私たち」では、テーマに関する具体的な課題を設定して、追及したり解決したりする活動のプロセスにそって学習する。 ③第3部では、持続可能な国際社会づくりを担い、公共の精神を持った自立した主体になることを目指し、諸課題を解決する学習活動に取り組む。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。				
	思	思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し後世に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。				
	態	主体的に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期 中間	第1部「公共」のとびら 第1章 青年期を生きる私たち 第2章 他者とともに生きる人間としてのあり方 第3章 公共的な空間における倫理 第4章 公共的な空間における基本的原理	(1)青年期における自己形成 (2)キャリア開発と社会参画 (3)個人として尊重しあう人間 (4)公共的な空間を作る人間 (5)伝統・文化の中で生きる人間 (6)功利主義と幸福の原理 (7)義務論と公正の原理 (8)公共的な空間における協働 (9)民主主義の原理 (10)立憲主義の原理 (11)人権保障の原理 (12)日本国憲法の理念	○	○	○	【知】(第1・2章)青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の3つの視点から捉えた人間の在り方、(第2章)現代の諸課題について判断し選択する際の手掛かりとなる功利主義や義務論などの考え方、(第3章)公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解する。資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し読み取り、まとめている。 【思】それぞれのテーマについて、多角的・多面的に考察し、表現している。 【態】それぞれのテーマを実現する上での課題について、自分自身の課題としてとらえ、主体的に追及している。	考査 小テスト レポート 討論・発表 振り返り
	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と政治参加 第2章 法の働きと私たち	(1)民主政治と政治参加 (2)法や規範の意義と役割 (3)市民生活と私法 (4)国民の司法参加	○	○	○	【知】(第1章)民主政治の実現の観点から、政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、(第2章)法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法の仕組みと司法参加の意義等について、理解している。資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思】それぞれの課題について、民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】民主政治実現の観点から、主体的に追及している。	考査 小テスト レポート 討論・発表 振り返り
後期 中間	第3章 経済社会で生きる私たち 第4章 私たちの職業生活	(5)現代の経済と市場 (6)市場経済における金融の働き (7)財政の役割と持続可能な社会保障制度 (8)働くことの意義と職業選択 (9)労働者の権利と雇用・労働問題	○	○	○	【知】(第3章)経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題、(第4章)働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて理解している。資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思】それぞれの課題について多角的・多面的に考察し、表現している。 【態】それぞれの課題について、主体的に追及している。	考査 小テスト レポート 討論・発表 振り返り
	第5章 国際社会の中で生きる私たち 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	(10)国際社会のルールとしくみ (11)国際社会と平和主義 (12)国際平和への課題 (13)グローバル化する国際経済 探究学習	○	○	○	(第5章) 【知】国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について理解している。資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思】それぞれの課題について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【態】それぞれの課題について、主体的に追及している。 (第3部) 【知】第1部、第2部で学習した知恵域と関連付けて理解している。 【思】課題解決に向けて必要な資料や情報を収集し、分析・考察・判断している。自らの主張を論拠を明確にして説明・表現できる。 【態】計画を踏まえて自ら振り返り整理しながら、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	考査 小テスト レポート 討論・発表 振り返り